



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社JMS

コード番号 7702 URL <http://www.jms.cc/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 奥窪 宏章

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長

(氏名) 遠藤 正樹

TEL 082-243-5844

四半期報告書提出予定日 平成26年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	12,236	△2.0	△182	—	△128	—	△253	—
26年3月期第1四半期	12,490	5.5	18	△94.2	130	△69.7	6	△97.7

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △454百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 471百万円 (518.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△5.21	—
26年3月期第1四半期	0.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	54,831	—	29,972	—	54.5	—
26年3月期	53,222	—	30,619	—	57.4	—

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 29,869百万円 26年3月期 30,526百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	26,800	4.2	400	103.7	500	12.5	300	49.4	6.15
通期	56,000	4.0	1,200	33.2	1,400	17.9	800	285.7	16.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期1Q	49,466,932 株	26年3月期	49,466,932 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期1Q	704,102 株	26年3月期	702,455 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	48,763,219 株	26年3月期1Q	48,772,014 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループを取り巻く環境は、海外においては、新興国を中心に医療市場の成長が続き、現地及び各国メーカーによる競争も激化しています。また、国内においては、政府の政策と相俟ってヘルスケア分野への新規市場参入の動きが活発化する一方で、少子高齢化の進展、国家財政及び医療保険財政の深刻化を背景に、医療現場を支える観点から診療報酬は引き上げるものの、薬価・材料価格は引き下げ、医療費全体の伸びを抑える医療政策が継続しています。

このような環境の中、当社グループは、「患者様第一主義」の企業理念に基づき、お客様に感動を与える製品とサービスの提供を目指し、「医療の安全」、「医療の効率化」、「再生医療」、「医療を必要とする方のQOL(クオリティ・オブ・ライフ)の向上」をキーワードとして、販売品目を4つのシステム群に分類し、輸液輸血群及び一般用品群では、医療の安全に貢献する輸液及び経腸栄養関連製品を、透析群では、医療の効率化に資する血液透析及び腹膜透析の両分野の製品を、循環器群では、膜型人工肺、人工心肺回路等の高付加価値製品を中心に、製品の開発・生産・販売を進め収益拡大に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期に比べ2億54百万円減少の122億36百万円（前年同四半期比2.0%減）となりました。

利益につきましては、人件費や労務費の低減に努めたものの、減収の影響により、1億82百万円の営業損失（前年同四半期は営業利益18百万円）となりました。また、持分法による投資利益を計上したこと等により、経常損失は1億28百万円（前年同四半期は経常利益1億30百万円）となり、税金費用等を差し引いた結果、四半期純損失は2億53百万円（前年同四半期は四半期純利益6百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 日本

人工心肺回路やドイツ向けAVF針（血液透析用針）の販売は堅調に推移したものの、血液透析装置及びその付属機器の販売が鈍化したため、売上高は88億64百万円（前年同四半期比5.2%減）となりました。また、セグメント損益については、人件費や労務費の低減を図ったものの、減収の影響により前年同四半期に比べ2億61百万円減少の2億71百万円の損失となりました。

② 東南アジア

インドネシア向けの血液バッグの販売が増加したため、売上高は42億5百万円（前年同四半期比0.6%増）となりました。また、セグメント損益については、為替が有利に作用したこと等により、前年同四半期に比べ55百万円回復し、51百万円の損失となりました。

③ 中国

欧米向け及び中国国内向けのAVF針の販売が引き続き伸長したため、売上高は8億60百万円（前年同四半期比8.6%増）となりました。また、セグメント利益については、増収の効果により黒字となり、前年同四半期に比べ94百万円増加の48百万円となりました。

④ ドイツ

EU圏におけるAVF針の販売が好調に推移したため、売上高は8億19百万円（前年同四半期比21.4%増）となりました。また、セグメント利益については、為替による円建ての仕入金額減少により92百万円（前年同四半期比61.5%増）となりました。

⑤ アメリカ

中南米向けの血液バッグの販売が減少したため、売上高は5億69百万円（前年同四半期比16.4%減）となりました。また、セグメント利益については、減収の影響に加え、前年同四半期における所有株式の配当金受取が当第1四半期連結累計期間になかったため、5百万円（前年同四半期比92.0%減）となりました。

⑥ その他

売上高は4億40百万円（前年同四半期比20.5%増）、セグメント利益は、前年同四半期に比べ38百万円増加の36百万円となりました。

なお、上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ16億8百万円増加の548億31百万円となりました。資産、負債及び純資産の内容は次のとおりであります。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ9億27百万円増加の316億93百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金の増加であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ6億81百万円増加の231億38百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産の増加によるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ3億32百万円減少の180億9百万円となりました。この主な要因は、短期借入金の減少であります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ25億88百万円増加の68億49百万円となりました。この主な要因は、長期借入金の増加であります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ6億46百万円減少の299億72百万円となりました。この主な要因は、為替換算調整勘定の変動によるものであります。

なお、自己資本比率は2.9ポイント低下の54.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

経営環境には依然として不透明さが残るため、現時点におきましては、第2四半期連結累計期間及び通期の業績予測数値について、平成26年5月8日公表時から変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第1四半期連結累計期間において、ジェイ・エム・エス・ヘルスケア・フィリピン, I N C. を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,997	3,711
受取手形及び売掛金	16,211	14,765
商品及び製品	5,608	6,545
仕掛品	2,330	2,381
原材料及び貯蔵品	3,668	3,481
その他	957	814
貸倒引当金	△7	△6
流動資産合計	30,766	31,693
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	6,095	6,967
その他（純額）	12,060	11,790
有形固定資産合計	18,156	18,758
無形固定資産	730	707
投資その他の資産		
投資その他の資産	3,573	3,675
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	3,569	3,672
固定資産合計	22,456	23,138
資産合計	53,222	54,831

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,705	7,415
短期借入金	4,681	3,693
1年内返済予定の長期借入金	1,363	1,679
未払法人税等	314	125
製品保証引当金	9	8
賞与引当金	1,040	612
その他	3,226	4,474
流動負債合計	18,342	18,009
固定負債		
長期借入金	2,632	5,163
役員退職慰労引当金	71	69
退職給付に係る負債	472	483
資産除去債務	246	245
その他	839	886
固定負債合計	4,261	6,849
負債合計	22,603	24,859
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,411	7,411
資本剰余金	10,362	10,362
利益剰余金	12,504	12,055
自己株式	△274	△275
株主資本合計	30,003	29,554
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	354	429
為替換算調整勘定	169	△114
退職給付に係る調整累計額	△0	△0
その他の包括利益累計額合計	523	315
少数株主持分	92	102
純資産合計	30,619	29,972
負債純資産合計	53,222	54,831

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	12,490	12,236
売上原価	9,246	9,199
売上総利益	3,244	3,037
販売費及び一般管理費	3,225	3,220
営業利益又は営業損失(△)	18	△182
営業外収益		
受取利息	2	0
受取配当金	49	16
持分法による投資利益	29	42
為替差益	49	—
その他	31	36
営業外収益合計	162	96
営業外費用		
支払利息	15	23
為替差損	—	9
支払手数料	20	3
その他	14	6
営業外費用合計	50	42
経常利益又は経常損失(△)	130	△128
特別利益		
固定資産売却益	1	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産廃棄損	11	2
投資有価証券評価損	9	—
特別損失合計	21	2
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	110	△131
法人税、住民税及び事業税	66	87
法人税等調整額	36	28
法人税等合計	103	115
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	7	△246
少数株主利益	0	6
四半期純利益又は四半期純損失(△)	6	△253

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	7	△246
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21	75
為替換算調整勘定	443	△283
退職給付に係る調整額	—	0
その他の包括利益合計	464	△207
四半期包括利益	471	△454
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	469	△465
少数株主に係る四半期包括利益	1	10

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本	東南 アジア	中国	ドイツ	アメリカ	計		
売上高								
外部顧客への売上高	8,413	2,050	304	674	681	12,125	365	12,490
セグメント間の内部 売上高又は振替高	932	2,128	487	—	—	3,547	—	3,547
計	9,346	4,178	792	674	681	15,673	365	16,038
セグメント利益 又は損失(△)	△9	△106	△45	57	71	△33	△2	△35

(注) 「その他」の区分は、国内子会社及び韓国の現地法人の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△33
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△2
セグメント間取引消去	147
持分法投資利益又は損失(△)	30
その他の調整額	△11
四半期連結損益計算書の経常利益	130

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本	東南 アジア	中国	ドイツ	アメリカ	計		
売上高								
外部顧客への売上高	7,878	2,161	368	817	569	11,796	440	12,236
セグメント間の内部 売上高又は振替高	985	2,044	491	2	—	3,523	—	3,523
計	8,864	4,205	860	819	569	15,319	440	15,759
セグメント利益 又は損失(△)	△271	△51	48	92	5	△175	36	△139

(注) 「その他」の区分は、国内子会社及び韓国の現地法人並びにフィリピンの現地法人の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△175
「その他」の区分の利益又は損失(△)	36
セグメント間取引消去	△115
持分法投資利益又は損失(△)	42
その他の調整額	83
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△128